

平面図

S=1:5000

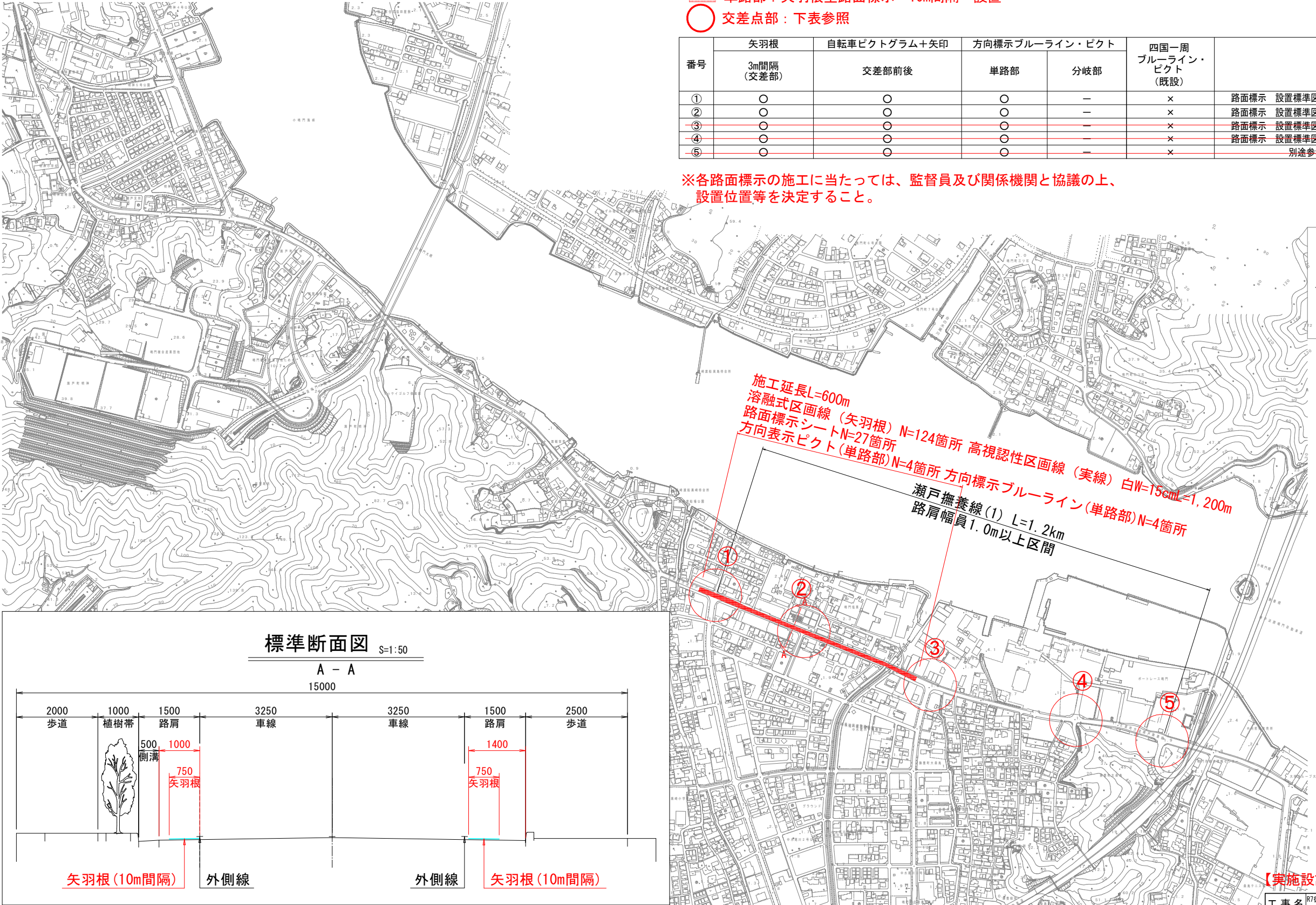
瀬戸撫養線(1) 区間

■ 単路部：矢羽根型路面標示 10m間隔 設置

○ 交差点部：下表参照

番号	矢羽根	自転車ピクトグラム+矢印	方向標示ブルーライン・ピクト		四国一周 ブルーライン・ ピクト (既設)	備考
	3m間隔 (交差点部)	交差点前後	単路部	分岐部		
①	○	○	○	—	×	路面標示 設置標準図(細街路交差点 その1)参照
②	○	○	○	—	×	路面標示 設置標準図(細街路交差点 その1)参照
③	○	○	○	—	×	路面標示 設置標準図(細街路交差点 その1)参照
④	○	○	○	—	×	路面標示 設置標準図(細街路交差点 その1)参照
⑤	○	○	○	—	×	路面標示 設置標準図(細街路交差点 その1)参照 別途参考図を提供予定

※各路面標示の施工に当たっては、監督員及び関係機関と協議の上、
設置位置等を決定すること。

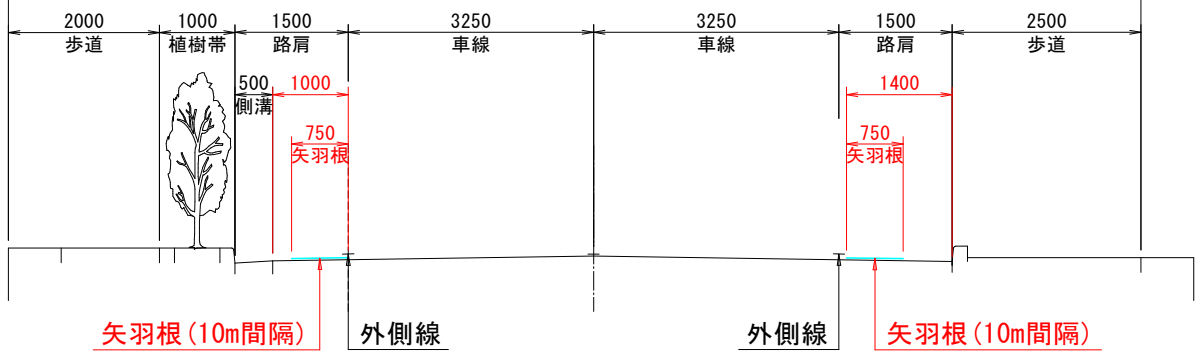


標準断面図

S=1:50

A - A

15000



1:5000
0m 50m 100m 200m 300m 400m 500m

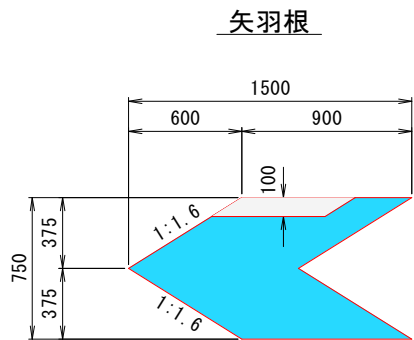
【実施設計図面】

工事名	R7徳土 瀬戸撫養線 鳴・撫養大桑島他 区画線工事(2)		
路線名等	瀬戸撫養線		
工事箇所	鳴門市撫養町大桑島他(第2分割)		
図面名	平面図		
縮尺	1:5000	図面番号	1/5
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局<徳島>		

※本資料は鳴門市より貸与いただいた2万5千分の1の平面図を拡大して使用するため、施工の際には現地を十分に確認すること。

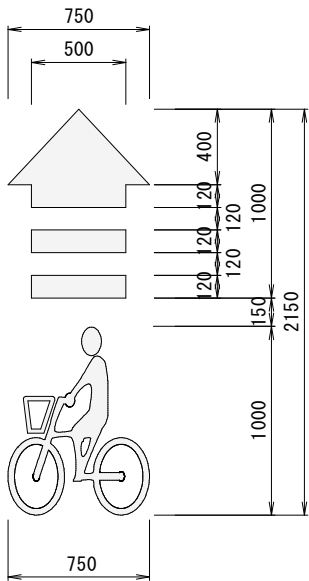
構造図

矢羽根型路面標示



- ・設置間隔 単路部100m、交差点部3m程度
- ・色彩は青系色とする

自転車ピクトグラム+矢印 S=1:20

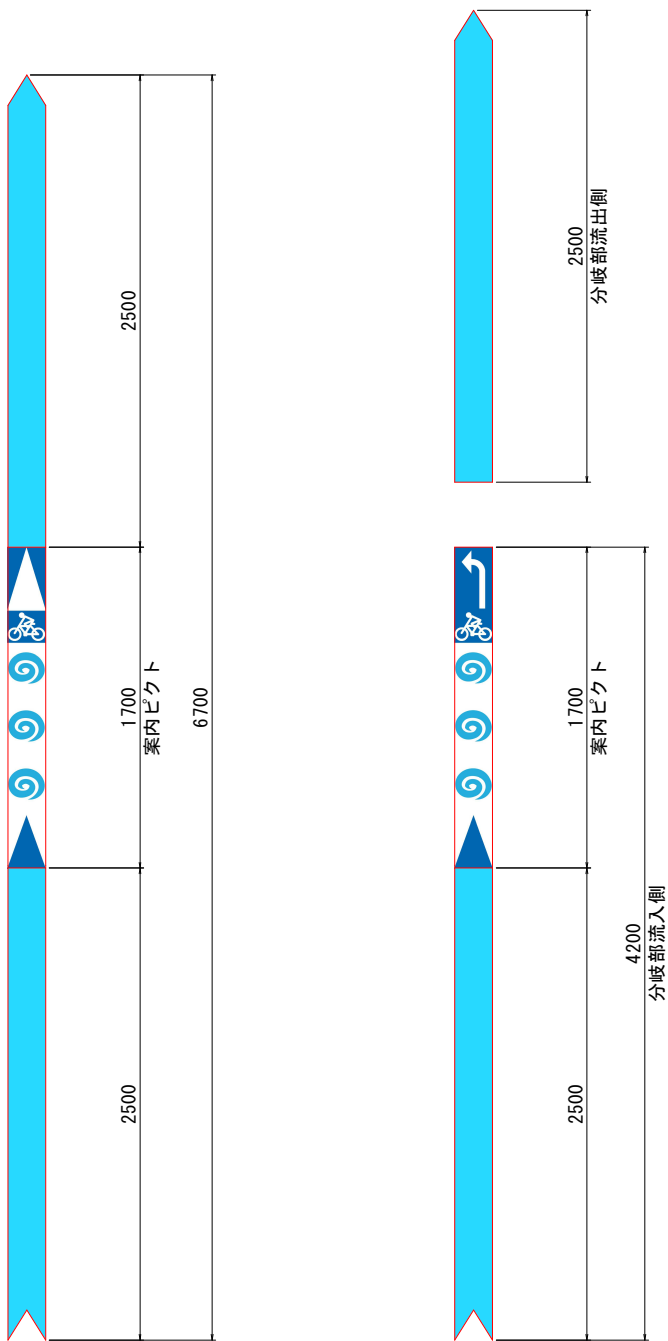


- ・交差点部の前後や自転車と自動車の交錯の機会が多い区間等に設置
- ・単路部での設置間隔は30m～50mに1箇所程度とする（車道混在において、矢羽根と併用する場合）
- ・色彩は白系色とする

ブルーライン・ピクト S=1:20

単路部

分岐部

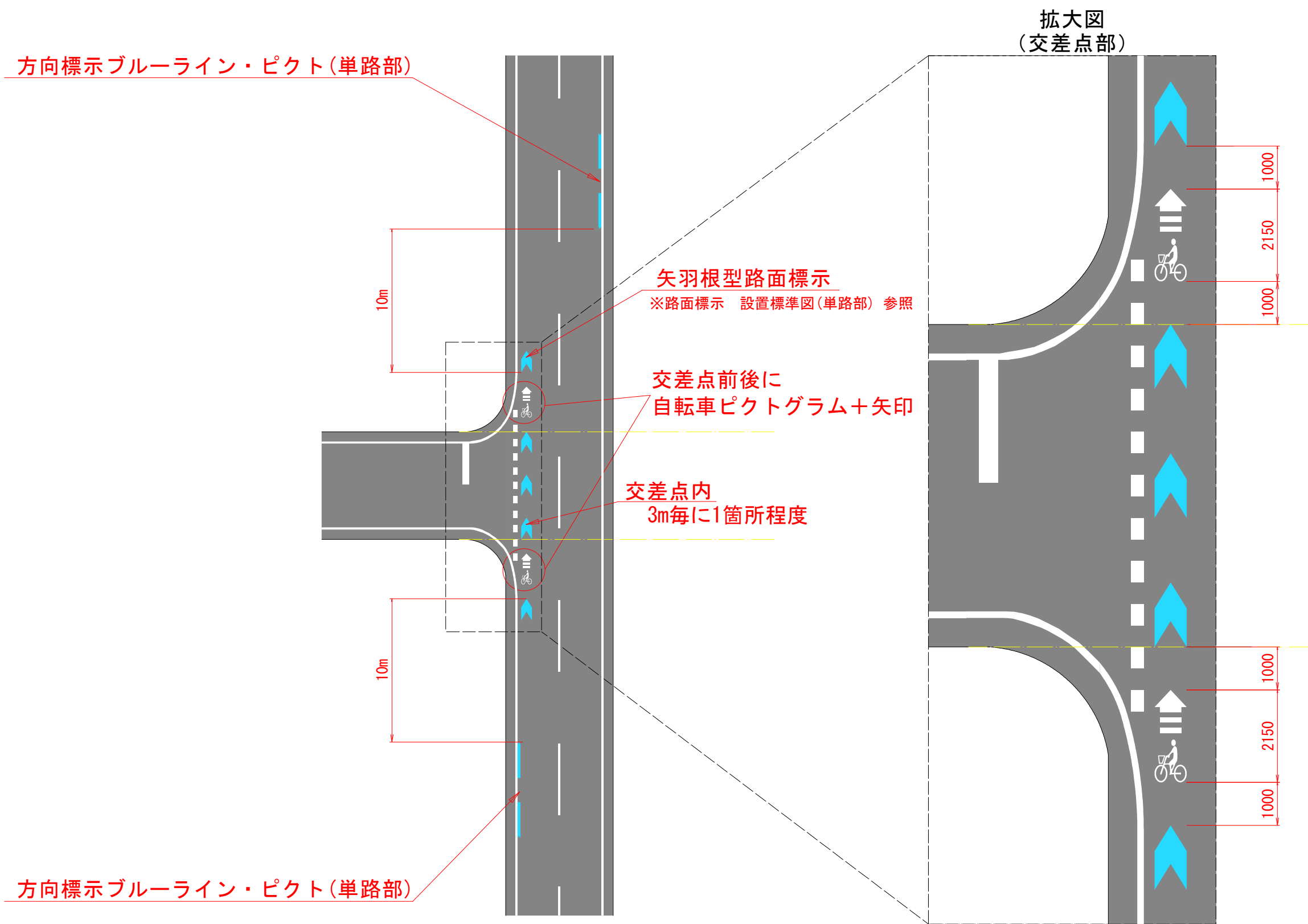


- ・単路部は概ね5km毎、分岐部は必要箇所全箇所に設置
- ・分岐部の案内ピクトは進行方向に合わせて変更する
- ・ブルーライン・ピクトの左端を外側線外側に沿わせること。

【実施設計図面】

工事名	R7徳土 瀬戸撫養線 鳴・撫養大桑島他 区画線工事(2)		
路線名等	瀬戸撫養線		
工事箇所	鳴門市撫養町大桑島他(第2分割)		
図面名	構造図		
縮尺	1:20	図面番号	2/5
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局<徳島>		

路面標示 設置標準図(細街路交差点 その1) S=1:150
矢羽根型路面標示、自転車ピクトグラム+矢印、方向標示ブルーライン・ピクト



【実施設計図面】

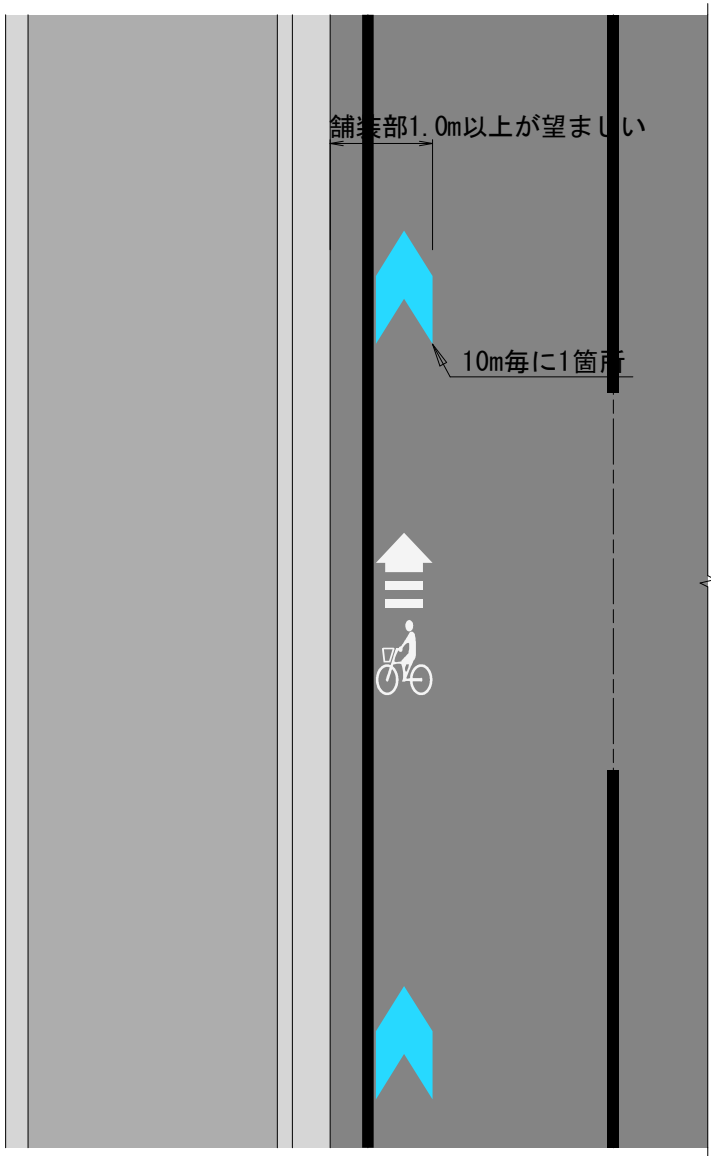
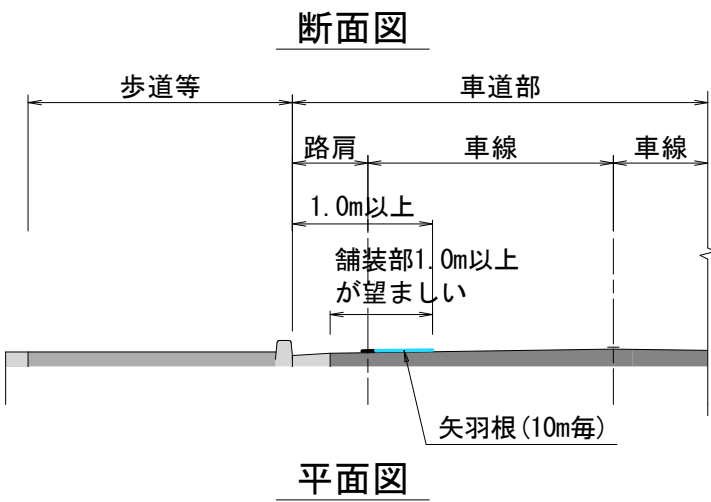
工事名	R7徳土 瀬戸撫養線 鳴・撫養大桑島他 区画線工事(2)		
路線名等	瀬戸撫養線		
工事箇所	鳴門市撫養町大桑島他(第2分割)		
図面名	路面標示 設置標準図 (細街路交差点 その1)		
縮尺	1:150	図面番号	3/5
年度			
事業者名	徳島県東部県土整備局<徳島>		

路面標示の設置位置及び間隔(単路部)(その1) S=1:50

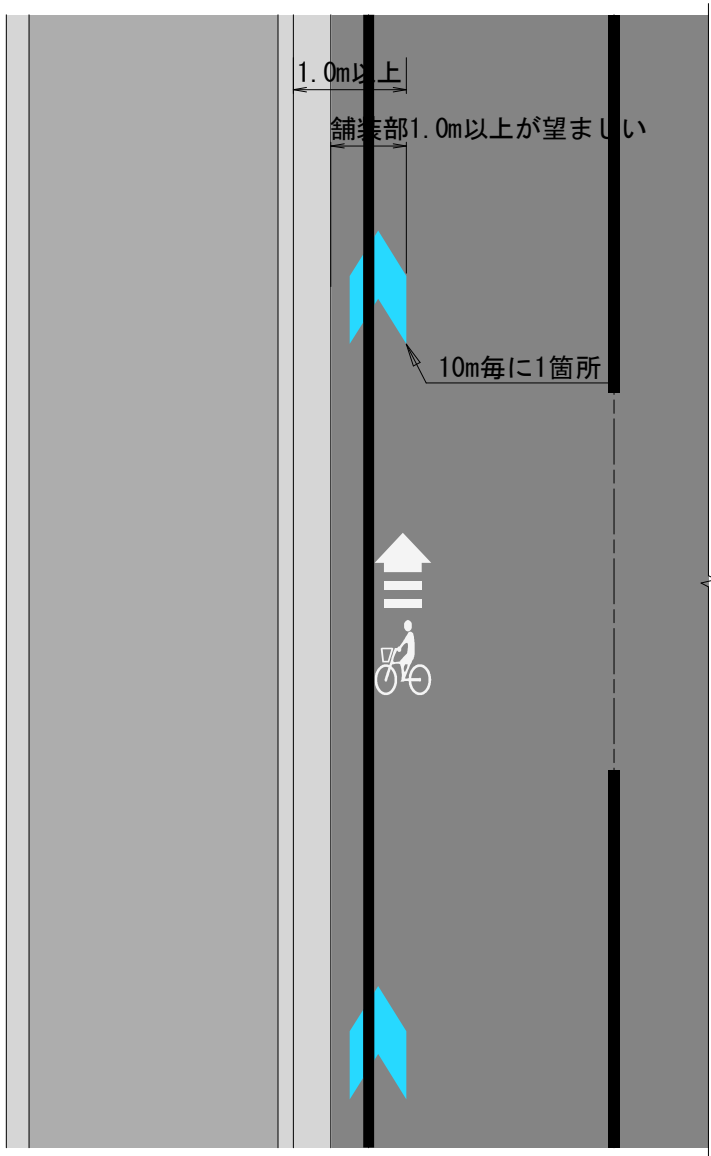
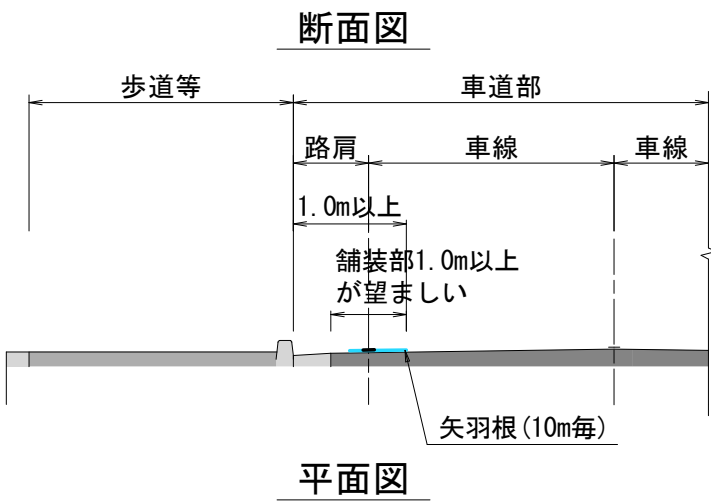
参考図

歩道有り、外側線有り、路肩狭い

【矢羽根を車線内に表示】



【矢羽根を外側線の下に重複させて表示(※4)】



※4 矢羽根を一部もしくは全部を路肩内に標示する場合は、当該道路の車両通行帯規制の有無を交通管理者に確認すること

【実施設計図面】

工事名	R7徳土 瀬戸撫養線 鳴・撫養大桑島他 区画線工事(2)		
路線名等	瀬戸撫養線		
工事箇所	鳴門市撫養町大桑島他(第2分割)		
図面名	路面標示の設置位置及び間隔(単路部)(その1)		
縮尺	1:50	図面番号	5/5
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局<徳島>		